エチェバリーア司教:慈善のわざを もってドン・アルバロの列福式を準備する。

エチェバリーア司教は慈善のわざを倍加してドン・アルバロの列福式を準備することをオプス・デイのメンバーに勧めました。

2014/07/05

7月1日付の手紙で、エチェバリーア 司教は慈善のわざを倍加してドン・ アルバロの列福式を準備することを オプス・デイのメンバーに勧めまし た:「家や病院で過ごしている病気 の方々により愛情を込めて接するよ う努めること、食糧支援(フードバ ンク)に協力すること、スラム街や 貧民街に住んでいる人々、自分の惨 めさを隠している人に無関心でない こと、施設の高齢者や、牢獄の中で 気遣ってくれる人が誰もいない人々 を訪問し、時間を過ごすこと。これ ら全てのことは、ドン・アルバロの 列福式を準備するためのすばらしい 方法です。|

属人区長は、少年の頃から奉仕の精神を生きたドン・アルバロの模範に倣うことを勧めます:「ドン・アルバロは聖マタイが伝えている、師キリストの最後の審判に関するみことばを非常に真剣に受け止めておられました。(…) 『お前たちは私が飢

えていたときに食べさせ、のどが渇いていたときに飲ませ(…)。はっきり言っておく。私の兄弟であるこのもっとも小さい者の一人にしたのは、私にしてくれたことだ。』(マタイ 25,35.40)」

さらに続けて説明します:「現代社 会の多様な状況や困窮に目を向ける と、皆と、そして一人ひとりと連帯 しておられた同じイエス・キリスト を日々見つけ出します。隣人や遠方 の人々を慈しみの心で見つめること で、人となられた主に非常に近くか ら触れることができます。教皇フラ ンシスコが指摘されたことです。 『今は、どのようにしてイエスの御 傷に触れることができるでしょう か。トマスのように見ることはでき ません。慈しみの業を実行すること でイエスの傷を体験します。これが 今イエスの傷に触れることなので す。』(2013年7月3日説教。)|

エチェバリーア司教は、ドン・アル バロの霊的な生涯に慈善のわざが果 たした役割を強調します:「ドン・ アルバロの召し出しは、内的な恩恵 の働きと全ての人、特に困っている 人達に対する兄弟愛によって、準備 されていたことが分かっています。 既にオプス・デイを知っていた友人 たちと、1934年から度々マドリード のある地区を訪れ、要理を教えた り、貧しい人や病気の人たちを訪問 したりしていました。聖ホセマリア との最初の接触は、間違いなく、犠 牪に伴われたこれらの活動の直接的 な実りであったと思います。|

「聖ホセマリアが、寮を度々訪れる 学生たちに、貧しい人や病人たちを 訪問するよう頼んでおられるのを 知って、ドン・アルバロは慈善事業 の重要性を理論的にだけでなく、こう 践的に再確認しました。後年、こう コメントされました。『貧しく見捨 てられた状態の人々との接触は、精 神的に大きな衝撃です。それは私たちの心配ごとが、愚かな自己の利己主義や卑小さ以外の何物でもないことを分からせてくれます。』|

車椅子の老人を挨拶するドン・アルバロ。(オランダ、1988年)

ドン・アルバロは、聖ホセマリアの 拓いた道を歩み、様々な国の闲窮者 を援助する多くの事業を推進しまし た:「年配の人たち、あるいは若者 たちとの集いを持つときには、あま り恵まれてない人たちに配慮するよ う勧めておられました。教育や衛 生、労働などの分野で必要な手段を 講じることを手伝い、具体的に人々 を神に近づけ、彼ら自身が神に近づ くよう助けることです。経営者や企 業人、銀行員、一般に経済的な事柄 に関わっている人たちにも、この責 任を自覚し深めるよう促し、彼ら に、これらの什事に着手したり、そ れを強化したりする可能性について

話されました。これは、キリスト者の業を特徴付ける正義と愛徳、兄弟姉妹である全人類に対する誠実な愛から派生する義務であると考えなければならないことです。|

「先日、ドン・アルバロの列福という 超自然的な行事に向けて霊的準備に 磨きをかけるようにお願いしました が、慈善事業もこの準備の一つで す。」と属人区長はしめくくりまし た。

2014年7月一日の手書きを読む

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/mons-echevarria-preparar-la-beatificacion-de-alvaro-del-portillo-conobras-de-misericordia/(2025/12/16)